

地域医療支援病院業務報告書

令和元年10月7日

群馬県知事 山本 一太 様

開設者 〒105-8521  
住 所 東京都港区芝大門 1-1-3  
氏 名 日本赤十字社  
社長 大塚 義治 印  
電話番号 03-3438-1311

医療法第12条の2の規定により  
平成30年度（4月～5月）の業務に関して下記のとおり報告します。

記

1 病院の開設者の住所及び氏名

住所	〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
氏名	日本赤十字社 社長 大塚 義治

注 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記載すること。

2 病院の名称

前橋赤十字病院
---------

3 病院の所在地

〒371-0014 群馬県前橋市朝日町 3-21-36 電話（027）224-4585
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合 計
0床	6床	0床	0床	586床	592床

## 5 病院の施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) ICU ベッド、セントラルモニター、ベンチレーター、全身麻酔器、持続緩徐式血液濾過装置、血液ガス分析装置、ポータブル X 線撮影装置、人工呼吸器、血液浄化装置、輸送用ポータブルモニター、自動浸透圧測定装置、体外式ペースメーカー、自動心電計、経皮 PO2 モニター等 病床数 12 床(うち院内 ICU6 床)
化学検査室	(主な設備) 生化学免疫自動分析機、血液照射装置、HbA1C 測定装置、全自動血液凝固分析装置、血液凝固即位装置、血液ガス分析装置、尿定量分析装置、遺伝子解析装置等
細菌検査室	(主な設備) 全自動血液培養検査装置、自動細菌同定感受性システム、血液培養検査装置、電子顕微鏡、マイクロスキャン自動測定装置等
病理検査室	(主な設備) 凍結組織切片作成装置、自動固定包埋装置、自動免疫染色システム、自動染色装置、自動封入装置、オートスミア等
病理解剖室	(主な設備) 解剖室一室、解剖用具、オートクレープ、解剖臓器保存室
研究室	(主な設備)
講義室	室数 3 室 収容定員 180 人
図書室	室数 1 室 蔵書数 7,284 冊(図書のみ)
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 ドクターズカー 2 台、ドクターヘリ 1 機
医薬品情報管理室	床面積 54 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 薬剤部員室と共用

注 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記載すること。

(その2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	71,0%	算定 期間	平成30年4月1日 ～平成30年5月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	131.3%		
算出	A：紹介患者の数（開設者とは直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された数。初診の患者に限る。）		1,607人
根拠	B：初診患者の数		2,262人
	C：逆紹介患者の数（開設者と直接関係のある他の病院又は診療所に紹介した患者を除く。）		2,971人

- 注 1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 2) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 3) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。

(その3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
		《別紙1》	常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		
			常勤 専従 非常勤 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	0床
専用病床	30床

注 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

### 3 重症救急患者に必要な検査及び治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター病棟	388.735㎡	(主な設備) 呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、新生児用人工換気装置、熱症用空気流動ベッド、超音波診断装置、心電図モニター装置、血液ガス分析装置、電解質定量検査装置、ポータブルX線撮影装置、自家発電装置	24時間使用可
ICU	378.893㎡	(主な設備) 除細動器、ペースメーカー、心電計、ポータブルX線撮影装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、経皮的酸素分圧監視装置、酸素濃度測定装置、超音波診断装置、心電図モニター装置、電解質定量検査装置、血液ガス測定装置、自家発電装置	24時間使用可

### 4 備考

--

注 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき群馬県知事の救急病院の認定を受けている病院又は救急医療対策の整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数（ドクターカー含む）	954人 (522人)
ドクターヘリにより搬入した救急患者の数（防災ヘリ含む）	138人 (47人)
上記以外の救急患者の数	1,683人 (364人)
合計	2,775人 (933人)

注 1) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。

2) 括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
ドクターヘリ	1 機

(その4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）  
のための体制が整備されていることを証する書類

1 前年度の共同利用の実績

①	前年度において共同利用を行った医療機関の延べ数： 115件 内訳:高額医療機器 115件、開放型共同診療 0件
②	①のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数： 115件
③	共同利用に係る病床の病床利用率： 0%

注 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

《別紙2》

2 共同利用の範囲等

①	共同利用を行った建物、設備、器械又は器具の名称： 図書室、博愛館、共同診療病床、CT、MRI、PET/CT
②	開放病床： 5床

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無  
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：須賀 一夫  
職 種：事務職

注 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との 経営上の関係
《別紙3》				

注 当該病院と同一の二次医療圏に所在する医療機関のみ記載すること。

常時共同利用可能な病床数	5床
--------------	----

(その5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

① 医学又は医療に関する講演会（学術講演会）： （地域連携学術講演会、地域がん拠点病院講演会）	2回
② 地域の医師等を含めた症例検討会：	2回
③ (内科系カンファレンス、CPC、心臓救急症例カンファレンス、前橋日赤皮膚科の会、脳神経救急医療カンファレンス、口唇口蓋裂差連携パス研究会ほか)	
④ その他の研修会： （プライマリケア勉強会、周術期口腔機能管理連携パス講習会、前橋日赤脳卒中医療連携の会ほか）	2回

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	6回
(2) (1) の合計研修者数	465人(うち二次医療圏 179人)

注 1) 研修は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものであること。  
2) (2) には、前年度の研修者の実数を記載すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無  有  無  
 イ 研修委員会設置の有無  有  無  
 ウ 研修指導者

修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験年数	特 記 事 項
				年	
				年	
《別紙4》				年	
				年	

注 研修指導者のうち、教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
集中治療室 ICU	626.09 m <sup>2</sup>	(主な設備) ICU ベッド、セントラルモニター、ベンチレーター、全身麻酔器、持続緩徐式血液濾過装置、血液ガス分析装置、ポータブル X 線撮影装置、人工呼吸器、血液浄化装置、輸送用ポータブルモニター、自動浸透圧測定装置、体外式ペースメーカー、自動心電計、経皮 PO2 モニター等



検体検査室 (生化学、免疫、血液)	602.7	m <sup>2</sup>	(主な設備) 生化学免疫自動分析機、血液照射装置、HbA1C 測定装置、全自動血液凝固分析装置、血液凝測定装置、血液ガス分析装置、尿定量分析装置、遺伝子解析装置等
細菌検査室	124.5	m <sup>2</sup>	(主な設備) 全自動血液培養検査装置、自動細菌同定感受性システム、血液培養検査装置、電子顕微鏡、マイクロスキャン自動測定装置等
病理検査室	162.78	m <sup>2</sup>	(主な設備) 凍結組織切片作成装置、自動固定包埋装置、自動免疫染色システム、自動染色装置、自動封入装置、オートスミア等
内視鏡室	144	m <sup>2</sup>	(主な設備) 上部・下部消化管ビデオスコープ、EVIS 十二指腸ビデオスコープ、気管支ビデオスコープ、経皮大腸ビデオスコープ、FTS 電子内視鏡、高周波治療装置等小腸ビデオスコープ
検査 RI 室	90	m <sup>2</sup>	(主な設備) $\gamma$ カウンター、ハンドフットクロスモニター、 $\gamma$ 線エリアモニター等
一般・断層撮影室	122.5	m <sup>2</sup>	(主な設備) X 線一般撮影装置
胃透視室	31.5	m <sup>2</sup>	(主な設備) X 線透視診断装置
第一血管撮影室	43.815	m <sup>2</sup>	(主な設備) シーメンス社血管撮影装置・シングルプレーン等
第二血管撮影室	43.85	m <sup>2</sup>	(主な設備) シーメンス社血管撮影装置・ダブルプレーン等
心臓カテーテル室	135.06	m <sup>2</sup>	(主な設備) 東芝多軌道断層撮影装置、心臓電気生理検査システム
第一 CT 室	93.59	m <sup>2</sup>	(主な設備) アクエリオン 64 マルチ CT
第二 CT 室	37.8	m <sup>2</sup>	(主な設備) シーメンス SOMATOMEmotion
第一 MRI 室	81.63	m <sup>2</sup>	(主な設備) シーメンス社 AGNETONvision
第二 MRI 室	51.453	m <sup>2</sup>	(主な設備) フィリップ社 IROSCANintera
病理解剖室	97.56	m <sup>2</sup>	(主な設備) 解剖室一式、解剖用具、オートクレーブ
病理標本室	84.24	m <sup>2</sup>	(主な設備) 解剖臓器保存室一式

研修医室・研修医当直室・カンファレンス室	216	m <sup>2</sup>	(主な設備) 個人机等、4室8名当直研修、2段ベッド個人机、18名収容カンファレンス室
博愛館(講義室)	208.392	m <sup>2</sup>	(主な設備) 3室に分割使用可、1室で使用時は約180名収容
図書室 (登録医等地域医療支援病院専用研修室含む)	245.069	m <sup>2</sup>	(主な設備) 蔵書 6,777冊(図書のみ) 医学雑誌 148種類
緊急用車両等			(主な設備) ドクターヘリ1機 ドクターズカー2台
医薬品情報管理室	54	m <sup>2</sup>	(主な設備) 薬剤部員室と共有

(その6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	中野 実
管理担当者氏名	関根 晃

記録の種類	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状及び退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約	1. 病院日誌（総務課） 2. 各種診療日誌（看護部） 3. 処方せん（薬剤部） 4. 手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等（診療情報管理室） 5. 診療情報提供書（地域医療連携課）	※外来カルテはターミナルデジタル下3桁方式 ※4についてはターミナルデジタル
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課
	救急医療の提供の実績	救急災害事業課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携課 診療情報管理室
	閲覧実績	診療情報管理室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携課

注1) 「保管場所」欄には、当該記録を保管する部署名を記載すること。

2) 「診療に関する諸記録」については、個々の記録について記載する必要はなく、諸記録の分類方法及び全体としての管理方法の概略を記載すること。

(その7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	中野 実
閲覧担当者氏名	浅野 太一
閲覧の求めに応じる場所	病棟カンファレンス室、各科外来 診療情報管理室
閲覧の手続の概要	《別紙5》

前年度の総閲覧件数	122件	
閲覧者別	医師	3件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	1件
	その他	16件（診療録開示）

注 閲覧件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

(その8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
1. 前橋地区地域医療支援病院合同運営委員会 平成30年度は2月18日(月)にJCHO群馬中央病院にて開催しました。		
2. その他 二次医療圏である前橋市医師会の病診連携理事及び救急担当理事を招いて、院内各職種・職場からなる地域医療連携委員会を30年度(4~5月)としては1回開催した。 (1)開催日時：平成30年4月25日(水)、18時半開会 (2)開催場所：前橋赤十字病院 健診センター3階会議室 (3)出席者：委員10名(院内9名、院外1名) (4)協議事項：開催前月の紹介率と逆紹介率、地域医療機関との連携に係る問題事案の解決、前橋市医師会から当院への要望ほか		

注 委員会の開催回数及び委員会における議論の概要(開催日、開催場所、協議事項、報告事項等)については、前年度のものを記載すること。

(その9) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他 ( )																										
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	ソーシャルワーカー																										
患者相談件数	2,838件																										
患者相談の概要																											
<p>① 相談の種類</p> <table border="0"> <tr><td>1. 家族関係に関する事</td><td>52件</td></tr> <tr><td>2. 在宅介護・地域生活に関する事</td><td>284件</td></tr> <tr><td>3. 療養生活に関する事</td><td>757件</td></tr> <tr><td>4. 経済的問題に関する事</td><td>77件</td></tr> <tr><td>5. 就労・職場環境に関する事</td><td>26件</td></tr> <tr><td>6. 就学・教育環境に関する事</td><td>7件</td></tr> <tr><td>7. 虐待・暴力・人権に関わる事</td><td>26件</td></tr> <tr><td>8. 受診・受療に関する事</td><td>283件</td></tr> <tr><td>9. 転院に関する事</td><td>923件</td></tr> <tr><td>10. 他施設利用に関する事</td><td>75件</td></tr> <tr><td>11. 心理・情緒的問題に関する事</td><td>111件</td></tr> <tr><td>12. 他福祉関係法利用に関する事</td><td>212件</td></tr> <tr><td>13. その他</td><td>5件</td></tr> </table> <p>② 相談に基づき講じた対策等</p> <p>患者さんや家族の訴えを充分聴取し、院内と院外の関係機関と連携や協働しながら支援を行った。</p>		1. 家族関係に関する事	52件	2. 在宅介護・地域生活に関する事	284件	3. 療養生活に関する事	757件	4. 経済的問題に関する事	77件	5. 就労・職場環境に関する事	26件	6. 就学・教育環境に関する事	7件	7. 虐待・暴力・人権に関わる事	26件	8. 受診・受療に関する事	283件	9. 転院に関する事	923件	10. 他施設利用に関する事	75件	11. 心理・情緒的問題に関する事	111件	12. 他福祉関係法利用に関する事	212件	13. その他	5件
1. 家族関係に関する事	52件																										
2. 在宅介護・地域生活に関する事	284件																										
3. 療養生活に関する事	757件																										
4. 経済的問題に関する事	77件																										
5. 就労・職場環境に関する事	26件																										
6. 就学・教育環境に関する事	7件																										
7. 虐待・暴力・人権に関わる事	26件																										
8. 受診・受療に関する事	283件																										
9. 転院に関する事	923件																										
10. 他施設利用に関する事	75件																										
11. 心理・情緒的問題に関する事	111件																										
12. 他福祉関係法利用に関する事	212件																										
13. その他	5件																										

注 1) 患者相談件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

2) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

(その10) その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 (1)財団法人 日本医療機能評価機構 区分3 Ver1.0 2015年3月6日交付 (2)一般財団法人 日本規格協会 マネジメントシステム JISQ9001 2013年3月31日交付 注 病院の機能に関する第三者による評価は、公益財団法人日本医療機能評価機構等によるものであること。	

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 毎月定期的に医療圏内外の医師会員、歯科医師会員や登録医宛に、また必要に応じて県内の病院宛に必要な地域医療連携情報提供を行っています。またホームページを活用した広報のほか、市民健康フォーラムや健康教室を利用して、広く市民や医療従事者に対して、当院の最新の治療内容についてご説明しています。	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有・無
・ 退院調整部門の概要 退院後の療養や生活に支援の必要となる患者さんを入院早期にスクリーニングし、割り出し、適切な介入をスムーズに行うプロセスを、看護師とMSWが協働して行っている部門です。転院、在宅のいずれにおいても、地域にある社会資源と患者さん、家族を結びつけ、コーディネートしています。	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 (1) 病病⇒①脳卒中、②大腿骨頸部骨折 (2) 病診⇒①糖尿病、②骨粗鬆症、③PCI、④気管支ぜんそく、⑤睡眠時無呼吸症候群 ⑥口唇口蓋裂、⑦周術期口腔機能管理、⑧胃がん、⑨大腸がん、⑩肝臓がん ⑪乳がん、⑫肺がん、⑬小児頭部外傷 ・ 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 郡市医師会、郡市歯科医師会、登録医、連携病院からの支援と共同運営に取り組んでいます。周術期口腔機能管理では共同開催による講習会や歯科医師会例会や定例会等での説明会や出前講習会を開催し、糖尿病連携など新規参加の連携パス提携医にはスタッフによる説明訪問をしています。また定期的に連携パス提携医や院外医師を対象に、症例検討や研修会を開催し、パス説明や報告を行っています。	